

2025年度 輸送の安全に関する取り組み

天台観光株式会社

代表取締役社長 紙透 要

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

安全方針

安全は全てに優先する

天台観光株式会社は、『輸送の安全の確保』に関して方針を策定し、それを実践し徹底することにより
全社員一同、安心・安全・快適な移動空間の提供と経済走行に努めます。

- 社長は、輸送の安全の確保が事業の根幹であることを深く認識し、全社員に対し輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させ、また社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たします。
- 安全マネジメントを確実に実施し、全社員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めます。
- 輸送の安全に関する情報について積極的に公表します。
- 現場における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど、現場の状況を十分に踏まえつつ、社員に対し輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底します。
- 輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善(Plan Do Check Act)を確実に実施し、全社員が一丸となって業務を遂行することにより輸送の安全向上に努めます。

2. 輸送の安全に関する重点施策

- 関係法令及び安全管理規定を遵守します。
- 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置、または予防措置を講じます。
- 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、車内において必要な情報を伝達・共有します。
→項目4:輸送の安全に関する情報の連絡体制図
- 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を作成し、的確に実施します。
→別添1:乗務員指導計画表

【1】

3. 輸送の安全に関する目標と計画

3-1 目標と達成状況

■2024年度達成状況

・人身事故 0件	達成
・車庫内接触事故 5件	達成
・後退時接触事故30%減(後退事故7件発生)	未達成
・業務監査指摘事項ゼロ	達成

■2025年度 目標

- ・人身事故0件
- ・車庫内接触事故ゼロ
- ・後退時接触事故30%減
- ・業務監査指摘項目ゼロ

3-2 輸送の安全に関する投資額

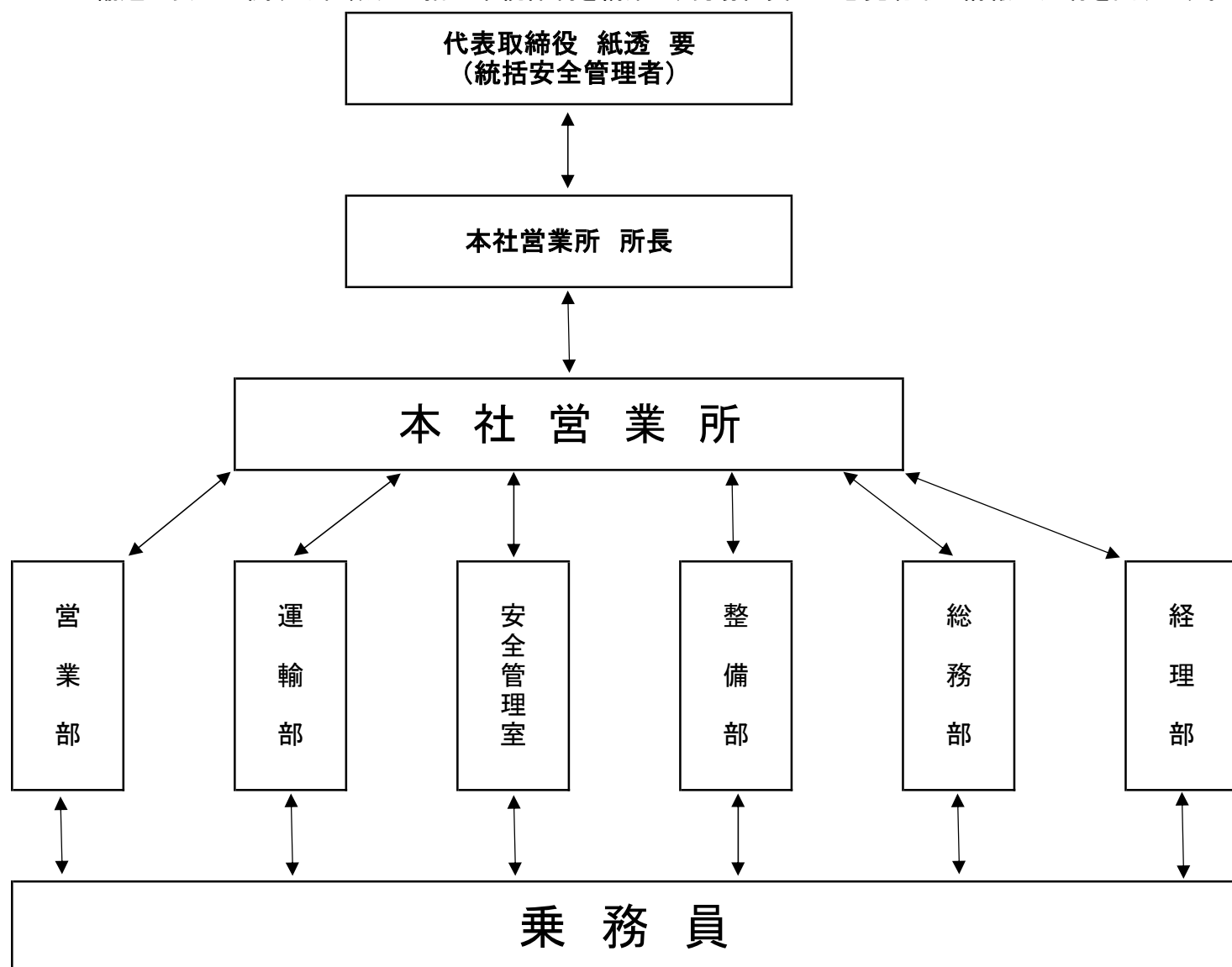
項 目	2024年度 投資額	2025年度 予算額
輸送の安全にかかわる車両購入費	—	9, 000千円
安全教育費	1, 700千円	1, 700千円
安全表彰経費	3, 000千円	3, 000千円
安全設備費	—	1, 500千円
健康診断、SAS、脳ドッグ	1, 250千円	1, 250千円
合計	5, 750千円	16, 450千円

3-3 安全教育回数・受講員数

- ・全乗務員を対象とした『運転者に対して行う指導・監督の指針』による事故防止教育(月次教育)
- ・グループ別による事故防止運動(3ヶ月毎による報奨制度)
- ・点呼における安全、及び運送法規等、遵守事項の啓蒙
- ・安全意識向上乗務員ミーティング(年4回)
- ・事故防止委員会(年4回)
- ・冬期冬山運行訓練
- ・緊急対応訓練(急制動・消火訓練・避難訓練)
- ・適性診断…一般／3年毎
 - …適齢／65歳時、以降2年毎
 - …事故惹起者／事故発生時
- ・適性診断に伴う個別指導(年1回)
- ・事故惹起者を対象とした特別指導
- ・実技指導訓練(戸塚自動車学校)
- ・初任運転者教育(座学・実技)
- ・無事故報奨制度
- ・同乗指導、巡回指導
- ・健康診断(年2回)
- ・SASスクリーニング検査
- ・脳ドッグ
- ・東京海上日動火災保険安全運転講習会
- ・瀬谷消防署緊急対応訓練(AED/救急救命/避難訓練等)

4. 輸送の安全に関する情報伝達・共有

■輸送の安全に関する組織及び指示系統体制を構築し、現場社員から意見聴取し情報の共有を図ります。



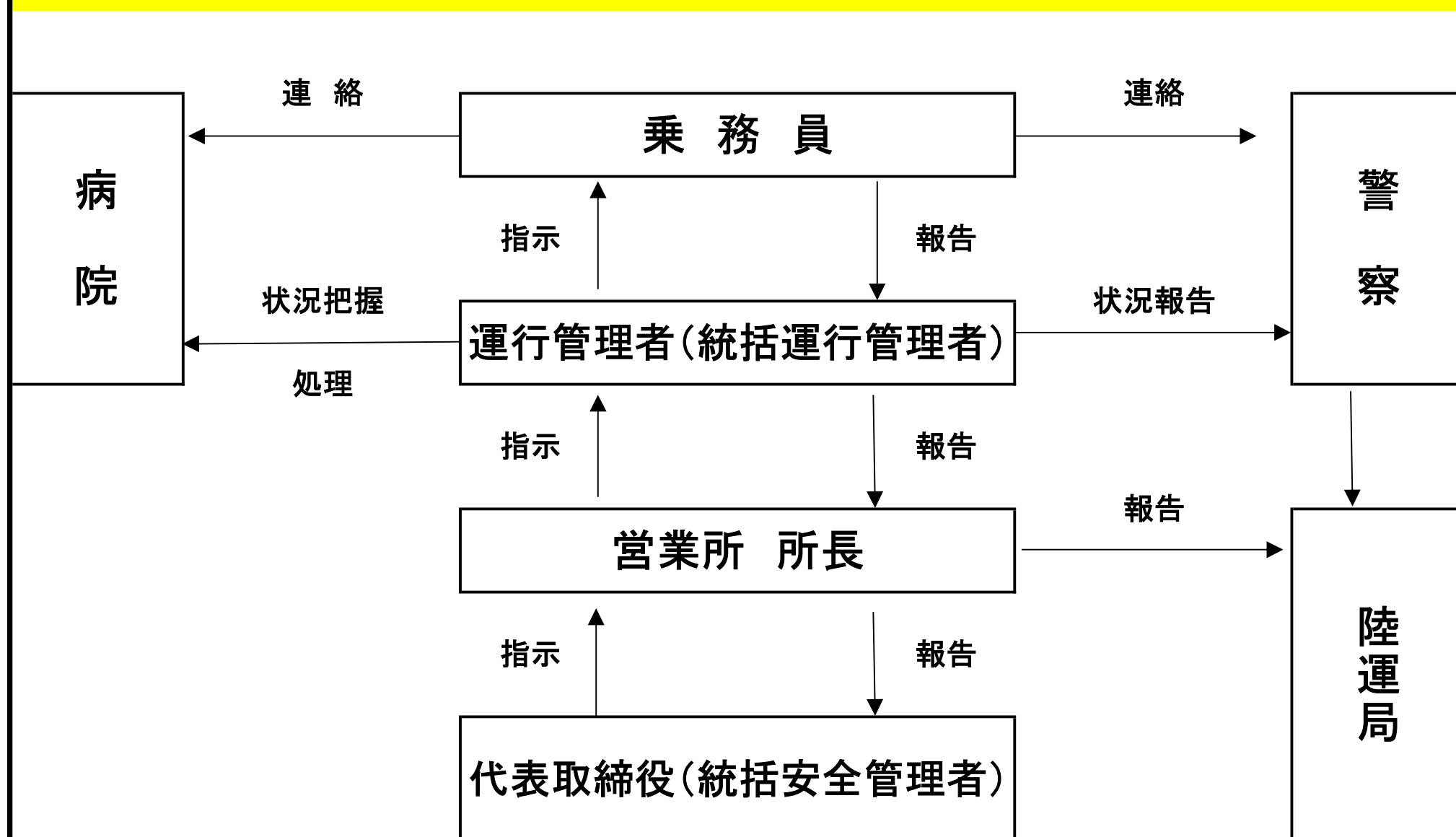
会議名称	会議内容	実施日時
役員会	役員、管理者による安全に関する情報共有	毎月実施
定例会議	各部署管理者による情報の共有	毎月実施
運行会議	運行管理者による安全に関する意見交換会	毎月実施
事故防止委員会	管理者、乗務員による意見交換会	3ヶ月毎
安全意識向上乗務員ミーティング	乗務員による安全意識向上の為の意見交換会	3ヶ月毎

5. 事故情報等の収集及び活用

■ヒヤリハット体験記録を社内各所に掲示し、危険箇所等の情報共有を図り、安全運行に努めます

■ドライブレコーダーによる事故、ヒヤリハット情報等を収集し、事故防止委員会、安全意識向上ミーティング等、運転技術向上、安全意識向上を図ります。

重大事故発生時 連絡体制図



6-1 車両火災発生等緊急時対応

■対応の基本

- ・乗客の安全確保を最優先とし、これに最善をつくす。
- ・冷静沈着に行動する。 →別添2:車両火災等緊急時における統一对応マニュアル

6-2 バスジャック発生等緊急時対応

■対応の基本

- ・乗客の安全確保を最優先とする。
- ・運行の安全確保に最善をつくす。
- ・乗客及び運行の安全を確保するため、原則として、犯人の要求に従って行動する。 →別添3:バスジャック統一对応マニュアル

7. 自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

項目	23年度	24年度
1. 自動車が転覆し、転落し、火災(積載品の火災を含む)を起こし、又は鉄道車両と衝突し若しくは接触したもの。	0件	0件
2. 10台以上の自動車の衝突又は接触を生じたもの。	0件	0件
3. 死者又は重傷者(14日以上入院を要する障害で、意志の治療機関が30日以上のもを生じたもの。	0件	0件
4. 10人以上の負傷者を生じたもの。	0件	0件
5. 自動車の積載された次に掲げるものの全部若しくは一部が飛散し、又は漏洩したもの。 ①消防法第2条第7項に規定する危険物。 ②火薬類取締法第2条第1項目に規定する火薬類。 ③高圧ガス保安法第2条に規定する高圧ガス。 ④原子力基本法第3条第2項に規定する核燃料物質及びそれらによって汚染された物。 ⑤放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律第2条第2項に規定する放射性同位元素及びそれによって汚染された物。 ⑥シアン化ナトリウム又は毒物及び劇物取締法施行令別表2に掲げる毒物又は劇物 ⑦道路運送車両の保安基準第47条第1項目第3号に規定する可燃物	0件	0件
6. 操縦装置又は乗降口の扉を開閉する操作装置の不適切な操作により、旅客に自動車損害賠償保障法施行令第5条第4号に掲げる障害が生じたもの	0件	0件
7. 酒気帯び運転、無免許運転、大型自動車等無資格運転又は麻薬等運転を伴うもの。	0件	0件
8. 運転者の疾病により、事業用自動車の運転を継続できなくなったもの。	0件	0件
9. 救護義務違反があったもの。	0件	0件
10. 自動車の装置の故障により、自動車の運行が出来なくなったもの。	0件	0件
11. 車輪の脱落、被牽引自動車の分離を生じたもの。	0件	0件
12. 橋脚、河川その他の鉄橋施設を損傷し、3時間以上本線において鉄道車両の運転を休止させたもの。	0件	0件
13. 高速道路等において3時間以上自動車の通行を禁止させたもの。	0件	0件
14. 上記に掲げるもののほか、自動車事故の発生の防止を図る為に国土交通省大臣が特に必要と認めて報告を指示したもの。	0件	0件
総 件 数	0件	0件

8. 安全管理規定

1986年 4月1日制定

→別添4:天台観光(株) 安全管理規定

9. 安全管理体制に係る内部監査

2026年 3月10日 内部監査実施

指摘事項 無し

10. 安全統括管理者

専任された安全統括管理者は以下の通りになります。

天台観光株式会社 代表取締役 紙透 要

専任日 2019年4月1日

9. 安全管理体制に係る内部監査

2025年 2月5日 内部監査実施
指摘事項 無し

10. 安全統括管理者

社長により選任された安全統括管理者は以下の通りになります。
天台観光株式会社 専務取締役 紙透 要 選任日 2019 年 4月 1日

11. 一般貸切旅客自動車運送事業における安全情報

一般貸切自動車運送事業者安全情報報告書 補足説明

確定処理日

令和6年6月5日

報告年度

令和6年度

主たる事務所住所

神奈川県横浜市瀬谷区阿久和南4丁目8-318

事業者名

天台観光株式会社

会社設立年度（西暦）

1988年度

代表者名

紙透 要

役職名

代表取締役

一般貸切旅客自動車運送事業許可年度（西暦）

1997年度

許可に付された条件の内容

～

自動車庫の箇所数

1箇所

休憩・仮眠室の箇所数

1箇所

届出運賃・料金種別

公示運賃

バス協会等への加入状況

加入済

未加入

☒ 日本バス協会（都道府県バス協会）

☒ 日本観光バス協会

☒ その他

☐ バスコナイテッドセーフティ

☐ 福岡県貸切バス協会

☐ ロケバス協会

☐ 福岡県第一貸切バス協会

協会等名称

(注)「佐賀県バス・タクシー協会」、「島根県旅客自動車協会」に加入している事業者は「日本バス協会（都道府県バス協会）」を選択してください

担当者氏名

森 淳一

担当者連絡先

045-366-5151

営業所名

本社

営業所の所在都道府県名

神奈川県

保有車両に関する情報

	車両数	年式（年）（西暦）		平均車齢	ドライブレコーダー 搭載車両 導入台数	デジタル式運行記録計 搭載車両 導入台数	ASV 搭載車両 導入台数	ASV 搭載車両うち後付 導入台数	主な運行の態様
		最古	最新						
大型	11台	2006年	2018年	11.0年	11台	11台	11台	3台	観光輸送（昼間）
中型	2台	2007年	2019年	11.0年	2台	2台	2台	1台	観光輸送（昼間）
小型	25台	2006年	2023年	11.0年	25台	25台	6台	0台	学校・企業等送迎
任意保険	対人保険	千円		☒ 無制限					
	対物保険	千円		☒ 無制限					

人員体制に関する情報

運転者	正規		正規雇用以外		合計	
雇用形態別	32人		14人		46人	
平均給与月額	330,000円		150,000円			
平均給与額の水準	A		D			
社会保険等加入者	40人		40人		46人	
平均勤続年数	7年					
					44人	

運行管理者及び整備管理者に係る情報

運行管理者及び整備管理者の人数	運行管理者	運行管理補助者	整備管理者	整備管理補助者
うち他業務（運転者等）の兼任者数	9人	1人	3人	6人
	4人	0人	1人	4人

輸送の安全にかかわる情報の伝達体制その他の組織体制

情報の伝達方法	社内報等の発行
緊急時における乗務員からの報告方法	電話
業務実施体制の適否	○

輸送の安全にかかわる教育及び研修の実施状況

	運転者	運行管理者	整備管理者
教育年間実施回数	12回	12回	4回
研修年間実施回数	4回	12回	4回

輸送の安全にかかわる内部監査の結果並びにそれに基づき講じた措置及び構じようとする措置

内部監査の実施	各種規定等の確立	関係法令等への適合	PDCAサイクルの有効性
内部監査実施の回数	2回	2回	2回
指摘有無	無	無	無
指摘措置	—	—	—

事故件数

	営業所	全国
死亡事故件数	0件	0件
重傷事故件数	0件	0件
軽傷事故件数	0件	0件
故障事故件数	0件	0件

物損事故件数	0 件	0 件
事故報告書提出件数	0 件	0 件
健康起因事故件数	0 件	0 件
走行キロ	1,167,676.0 Km	1,167,676.0 Km
走行10万キロ当たりの 重大事故件数	0.0 件	0.0 件

行政処分に対する事業の改善状況

事業の改善報告

外部機関による安全性チェックの活用状況に係る情報

民間認定機関における運輸安全マネジメント評価 （直近3年間）	×	▼
民間認定機関における運輸 安全マネジメントセミナー（直近3年間）	○	▼

運輸安全マネジメントに関する情報

安全管理規定の届出年月日（西暦）		2021 年 1 月 8 日
安全統括管理者	役職	代表取締役
	選任年月日（西暦）	2019 年 5 月 16 日
輸送の安全に関する基本的な方針の作成の実施の有無		○ ▼
輸送の安全に関する基本的な方針の公表の実施の有無		○ ▼
輸送の安全に関する目標の有無		○ ▼
輸送の安全に関する目標の達成状況		○ ▼